

電源接続案件募集プロセスにおける 30日等出力制御枠の容量確保のタイミング等について

- 本資料は、別途公表する「電源接続案件募集プロセスの基本的な進め方について」の補足として、特殊なケース等での電源接続案件募集プロセスの進め方を示すものです。
- 電源接続案件募集プロセスは、実施するエリアの送電系統の状況、連系等を希望する電源の状況、募集対象とする増強工事の内容などにより、プロセスごとに進め方が異なる可能性があります。個々のプロセスにおける具体的な進め方については、プロセスごとに定める募集要綱等に基づき実施いたしますので、十分ご留意ください。
- 本資料は、今後も、国が定める内容への適合や、電源接続案件募集プロセスの実例、会員その他電気供給事業者からのヒアリング等を踏まえ、適宜、改善・修正いたします。

平成29年3月7日
電力広域的運営推進機関

(空 白)

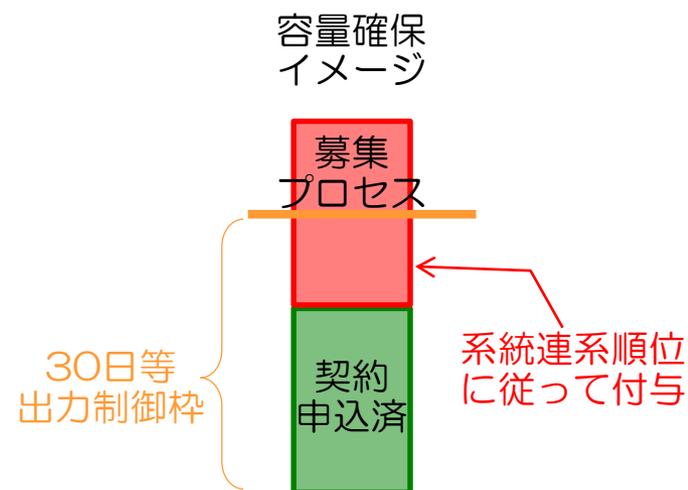
○電源接続案件募集プロセスにおいては、30日等出力制御枠の容量を確保するタイミング等は、通常の契約申込みにおける取扱い等を考慮して、次表のとおり取り扱います。

	電源接続案件募集プロセス	(参考) 通常の契約申込み
容量確保のタイミング	優先系統連系希望者の決定時点※ (系統連系順位の確定時点)	契約申込みの受付時点 (系統連系順位の確定時点)
確保する容量	優先系統連系希望者の 最大受電電力分	契約申込者の 最大受電電力分

※入札の成立条件を満たしている場合に限る

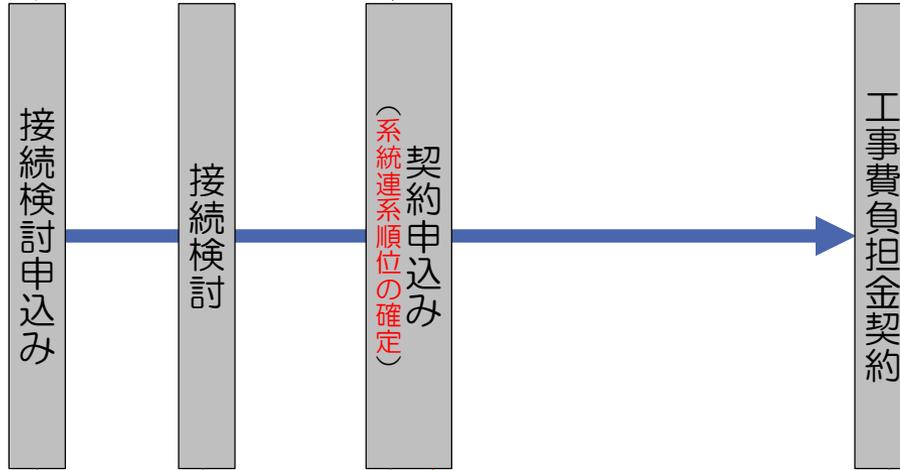
○優先系統連系希望者に対し、系統連系順位に基づき30日等出力制御枠の容量を確保し、30日等出力制御枠の範囲内の系統連系順位の優先系統連系希望者までが枠内となります。

- 30日等出力制御枠の範囲内の系統連系順位の優先系統連系希望者には、30日等出力制御枠の範囲内であることを、再接続検討回答においてお知らせします。
- 同範囲外の系統連系順位の優先系統連系希望者には、年間30日等を超える無補償での出力制御を許容いただくことになることを、再接続検討回答においてお知らせします。



【通常】

接続検討回答の前提となる系統状況から変動が生じている場合
(接続検討回答が無効となっている場合)は、再度、接続検討。



【電源接続案件募集プロセス】

30日等出力制御枠の容量確保

